

1. はじめに

ローズハルマン工科大学(RHIT)で交換留学をはじめて1ヶ月が経ちました。ロチェスター工科大学の English Language Center(ELC)での8週間の英語研修と合わせると、アメリカでの滞在時間はこれで4ヶ月になります。初めは不安ではなかったアメリカ生活にも慣れてきました。

英語研修のおかげで英語も最初と比べるとだいぶ慣れてきたと思います。しかし、RHITはELCとは違い、学位取得を目指す学生ばかりなので、英語のレベルは一段と上がりました。早いスピーキング、知らない単語に苦戦しながら毎日の生活を送っています。

2. ローズハルマン工科大学

RHITはインディアナ州のTerre Hauteという町にあります。Terre Hauteはコーンと大豆畑が広がる田舎町です。近くにスーパーマーケットやレストランなどがありますが、どれも徒歩で行くには遠いため、車を持っている友達に頼んで連れて行ってもらっています。中心地は建物も多く賑わっている感じがあります。町の雰囲気は全然違いますが、規模としては野々市市と似ているのではないかと思います。RHITはとても小さな大学です。敷地はKITの扇が丘キャンパスよりも大きいですが学生数は1800人ほどです。そのため、学生、先生問わず皆とても仲がよく授業のしやすい雰囲気だと感じています。アメリカ人ばかりの大学を想像していましたが、中国人や韓国人の学生もよく見かけます。また、キャンパス内にある建物の半分が学生寮となっていて、多くの学生がそこで生活しています。私は4人部屋の寮で生活しています。私はRHITに来る前までは2人部屋の寮に住んでいましたが、4人部屋となると広さも感じも全く違い一ヶ月経った今でもまだ慣れません。



図1 ローズハルマン工科大学の様子



図2 寮の様子

3. 授業

RHITの授業は1限が50分間で構成されています。各授業は1日1限しかありませんが、毎日あります。1限という短い時間の授業であるため、進度がとても早いです。また、授業は予習してあることが前提で進められていきます。宿題も毎日あるのでとてもハードだと感じています。私はDC Circuit, College English, Japanese Culture and Languageの3つの授業を取っています。初めの一週間はDynamical Systemsという授業も選択していましたが、宿題の多さと英語の授業についていけず諦めました。

DC circuit

電気回路の授業です。すでに履修している科目なので、英語の内容がわからなくてもある程度予想できます。また、計算などは日本でもアメリカでも共通なので理解できます。しかし、問題の内容は今まで経験したものよりもレベルの高いものばかりです。すでに履修した科目ですが、改めて学習すると意外と忘れていくことが多くとても参考になっています。この授業を含め多くの授業には演習の授業が含まれています。演習では授業で習った理論や法則が実際に正しいかどうかを実験し

ます。授業と並行して演習の時間があるため、問題を解くだけではイメージしづらい部分もより理解しやすくなります。

College English

英語を母国語としない学生のための授業です。新年度の最初の学期だけ開講される授業で純粋に英語を学ぶことができます。Reading、Speaking、Listening、Writing すべて行います。この授業では新しく文法や単語を習うのではなく問題を解き、間違えたところはわかるまで解き直すというかたちです。例えば、Writing では一度提出した課題でも文法的に正しい文章になるまで何度も再提出をするので、ミスをしやすい部分を自覚することができます。私は他の学生と比べ英語力が低いため、演習や課題をする場合他学生よりも多く時間がかかってしまいミスも多いです。しかし、初めに比べるとミスも課題にかかる時間も減ってきた気がします。

Japanese Culture and Language

日本に興味のある学生との交流と日本語がどのように教えられているのに興味があったので受講しました。私は日本人なので新しく覚えることは特にありません。そこで、授業の手伝いや学校や日本文化の紹介などをときどき授業内で行なっています。

授業は会話をするのをメインに行います。会話をする中で新しい文法、単語などを覚えていきます。私は日本語Ⅳのクラスを取っていますが、先生の説明はほとんど日本語です。学生達もとても上手に日本語をはなして、毎日驚かされています。日本に興味がある学生が多いこともありますが、毎日日本語を使っていれば1年弱でも十分会話ができるようになるのだと感じました。

4. Rose-Hulman Efficiency Vehicle(RHEV)

私は日本でも夢考房で同じプロジェクトに参加しており、予てからこのクラブに参加したいと思っていました。違うチームに参加することで日本のチームにも新しい考え方を取り入れたいと思ったからです。RHITの学生は授業が忙しいので、活動できる日が限られて来ます。RHEVは火曜日がミーティング、土曜日が作業というかたちで活動を行なっています。1週目、2週目で今年度の活動内容を具体的に決めました。今年度の活動は昨年度のトラブルで不調になったエンジンの修理と新車体を作りより一層の記録更新を狙うことに決めました。これから来年の春に行われる大会に向けて本格的に活動を行なっていきます。私も日本のチームでも車体作りは経験しているので、日本での経験を活かして少しでもチームに貢献できるよう参加していくつもりです。また、私の専攻は電気なので、電気の分野でも何か手伝えることがないか見つけていこうと思います。



図3 活動の様子



図4 RHEV 車体

5. おわりに

留学生活は毎日が新しく時間が経つのがとても早く感じます。長いと思っていた9ヶ月間も来月には折り返しを迎えます。貴重な残りの時間を無駄にしないよう、少しでも英語力が向上するよう、多くの活動に参加していこうと思います。

以上で9月分の報告を終わります。